松下村塾の志を柱とするキャリア教育の推進

萩市立椿東小学校

1　主題設定について

本校は、コミュニティ・スクール９年目を迎え、そのよさを生かして、ふるさと学習の学びを深める機会を積極的に設け、ふるさとを誇りに思い、地域貢献に繋がる活動を展開してきている。とりわけ、松陰先生の教えを大事にし、児童一人ひとりが夢や希望・志をもって、力強く歩むことができるような教育を目指している。松陰神社のすぐそばに位置する本校は、「至誠」を校訓としている。そこで、本年度も「松下村塾の志を柱とするキャリア教育の拠点校」として、特に松陰教学に力を入れ、地域のひと・もの・ことを活かした魅力あるキャリア教育を推進していくこととした。しかしながら、本年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、新しい行動様式を遵守し、今まで通りの活動はできず、中止しなければならない活動もあった。その中で、それぞれの学年が創意工夫し、主題解明にあたってきた。

2　活動計画及び内容の概略

松下村塾を身近に感じることのできる環境の中で展開している松陰教学を、コロナ禍でも推し進めることができる内容を創意工夫し、次のような活動計画を立てて取り組んだ。

(1) 常時活動

①全学年　朝の会における「松陰先生の言葉の朗誦」
　・全学級朗誦文と松陰カレンダーを掲示
　・各学年毎学期一つずつ朗誦

②全学年　終業式における「松陰先生の言葉の朗誦文の成果発表」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(2) 授業（年間通じて実施）※場所は、学校及び学校周辺

①　地域コーディネーターとの打ち合わせ

松陰教学・ふるさと学習を含むさまざまな学習支援のために多くの地域の方に関わっていただいているが、その仲立ちをしてく

ださる地域コーディネーターとの打ち合わせは、本年度は、コロナ禍であるため、教頭を介して、電話等で連絡・調整し、必要最低限で、状況に応じて進めることにした。

②　２年生活「どきどきわくわく
まちたんけん」

「松陰神社で働いている人はどんなひと？」など、松陰神社で、松陰先生のことについてたくさん質問をする姿が見られ、丁寧に答えていただいた。

③　３年総合「松陰先生ゆかりの地を訪れよう」

松下村塾や松陰誕生地など、松陰先生ゆかりの地を探訪。４年に進級してからの本格的な調べ学習につないでいく。

④　４年総合　「はじめまして松陰先生」

松陰読本や学校の松陰コーナーを活用し、松陰先生について学習し、タブレットを活用してプレゼン用のスライドを作成の上、互いに発表した。

また、夏季休業中に開催された山口県教育会萩支部の「子どもが学ぶ松陰先生」には、多くの４年生児童が参加した。

⑤　５年総合「ふるさと萩発見」

今までは、松陰神社を訪れている観光客に対して、今までの松陰先生についての学習の成果を紙芝居やパンフレット等にわかりやすくまとめてガイドしていたが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

⑥　６年総合「松下村塾講義室での朗誦と志の発表」

３学期に入ってから６年生は、今まで学んだ松陰先生の言葉の意味や背景などを詳しく調べる。その中から、自分のこれからの目標につながる朗誦を選び、思いを込める学習を行う。卒業前に、小学校生活の総まとめとして、歴史ある松下村塾講義室で、松陰先生

の言葉を朗誦し、将来に向けた自分の決意を発表する。

身の引き締まる貴重な体験は、子どもたちが志を抱く大きな機会となり、地域に生きる子どもたちの誇りにつながっている。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として、学年全体での発表を学級ごとにし、さらに、講義室にあがる人数を制限するなど、工夫して行った。

(3) 地域貢献活動

○　地域貢献活動（松陰神社横の遊歩道の清掃）

地域貢献活動として、いつもお世話になっている松陰神社横の遊歩道の清掃を、美化委員会の児童、５・６年生のボランティア、地域の有志、教職員で真心を込めて行った。本年度は、持久走大会前に行った。

３　研修成果及び今後の課題

本校の教育は、松陰先生の教えを大切にしていこうとする気運の中で展開され、どの学年も、松陰神社をはじめ、地域の史跡へ出かけて学ぶ機会を計画的に設けている。

また、コミュニティ・スクールとして、地域のひと・もの・ことを巻き込みながら松陰教学やキャリア教育・ふるさと学習を推進することを通して、子どもなりの志を抱く姿が見られ、これまでの取組の継続の成果といえる。本年度は、コロナ禍の中で、今まで当たり前のように行ってきた活動が、中止や削減せざるをえない状況になった。その中でも、創意工夫して、松陰教学を進めてきた。これからも、６年生の全国学力・学習状況調査の「将来の夢や目標をもっていますか」という質問に対して、肯定的な回答が高くなるよう、今まで以上に創意工夫してキャリア教育の充実を図っていきたい。

さらに、今まで以上に、学んだことが日常の生活の中に生かされ、ふるさとを誇りに思う子どもを多数育成することを使命として取り組んでいくことと、入れ替わりの激しい教職員に、松陰先生の教えや松陰教学について、きちんと研修させるシステムを構築していかなければならないと思っている。このことも、地域のひと・もの・ことを使って、計画的に進めていく必要があると考えている。